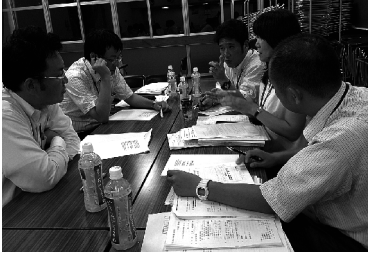


～24年度 県P 各委員会 活動中!!～

「大人の背中委員会」(旧 教育問題研究委員会) 委員長 河野 厚子

① 県教育行政・校長会・県教職員組合との懇談会の実施② 教育環境に関する意識調査、アンケートの実施③ 県教育行政への要望活動の実施を進めています。



7月には県PTA協議会と県教育委員会との連絡会を開催し、5つの課の取り組みについての説明をもとに、県PTA協議会側から保護者としての意見や要望を出すなど、行政と家庭との連携につながる連絡会を行いました。12月に県公立小中学校長会との教育懇談会、2月に県教職員組合との「教育を語る集い」を予定しており、子どもたちを取り巻く環境について保護者・学校・行政とが一体となった取り組みを進めてまいりたいと思います。

保護者へのアンケート調査では、問題点を抽出し県教育委員会に提案や改善を求めるなど、PTAの運営に広範囲に活用していきたいと思っています。



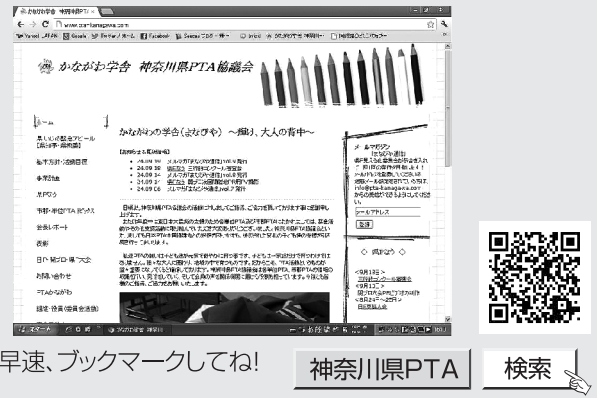
県教委との連絡会

見える化委員会(旧 広報委員会) 委員長 玉野 真永

県Pの各種事業をはじめ単位PTA・市郡PTAに役立つ情報を発信しています。今年度は、6月に県Pホームページをリニューアル!鮮度とタイミングを重視した「県Pなう」や「市郡・単位PTAトピックス」、必要な情報を分かりやすくシンプルに「安全互助会」や「県Pの魅力発信」などを設けました。また新たな県Pファンを獲得すべく?メルマガ「まなびや通信」の発行、フェイスブックページも開設していますので、これらも併せてご覧くださいますようお願いいたします。昨年まで年2回の発行(9月・3月)だった広報紙「PTAかながわ」は、見える化委員会の使命「タイムリーな情報提供」を最優先課題とし、事業計画等についてお知らせするために臨時号(7月)を発行いたしました。

今後も、見える化委員会では多くの方々に県Pの活動内容や存在意義を知ってもらい、市郡・単位PTAの役立つ情報を発信していきます。

リニューアルされた県Pホームページ。
トップページからメルマガ「まなびや通信」
の登録ができますので、今すぐ登録!



早速、ブックマークしてね!

神奈川県PTA

検索

県Pの魅力発信委員会(新設) 委員長 吉川 浩

県Pの良いところやPTA用語の説明のほか、県内の各市町村PTA活動や取り組み事例の紹介、皆さんが悩む事の多い講演会講師の事例紹介などについて、各市郡理事を通じて発信していきます。



まずは、自分たちが県Pの魅力を知らないと!!

これまでに、県Pの魅力発信委員会通信を2回発信しました。

どんな情報が欲しいかな?とか、こんな情報があったら良いのでは?と単位PT、市郡PTAに役立つ情報をおりませながら県Pの魅力をお伝えできたらと考えています。と、ワイワイしながら活動しています。

今後は、互助会やセイフティプラン24などの紹介のほか、各市町村で開催した講演会の講師に関するアンケートや活動事例についてアンケートのお願いを予定しております。

今年度に創出された委員会です。私達も会員の皆さんと同様に家庭や仕事を持っていますので、限られた時間の中での活動です。あまり風呂敷は広げずに、活動を進める中で試行錯誤しながら作り上げていきたいと思っています。

【かながわ学舎委員会】(旧 事業委員会) 委員長 根本 宗茂

平成25年度に神奈川県PTA協議会は第45回日本PTA関東ブロック研究大会神奈川大会を、大会スローガン「かながわ学舎(まなびや)～開国の地より新しい風を～」のもと開催いたします。

かながわ学舎委員会はこのスローガンを委員会名とし、今年開催される静岡大会での次期開催地紹介・PRを成功させるために関ブロかながわ大会実行委員会と連動して活動しています。10月の静岡大会PRIには150名を超える会員皆様の参加申し込みをいただき大変心強く、また気の引き締まる思いです。

一方では、昨年の事業委員会を引き継いで、相模原の地で「神奈川県PTA大会」を大会スローガン「かながわ学舎(まなびや)～輝け、大人の背中～」のもと実施いたします。

この両「かながわ学舎」事業の成功を、来年の関ブロかながわ大会へ向けての第一歩として、神奈川県PTAの力を結集してまいります。会員の皆様、ご理解ご協力の程、宜しくお願申し上げます。



目前にせまる静岡大会でのPRを成功させよう!

【総務渉外委員会】(旧 総務委員会、渉外委員会を統合) 委員長 上野代政範



県Pの事業を理解してもらわないと!

総務渉外委員会は、4つのメインの委員会活動を補完したり、対外事業をスムーズに効率よく展開するためのいわば縁の下の力持ちの役割を担っている委員会です。

県P協議会は県の審議会、協議会など教育関係諸団体での委員としての役割を担っています。「県P協議会だからこそできること」を無駄にしないよう、役員の分担調整を計ります。また、外部団体から、研究大会などに向け協賛していただき本協議会の事業を理解し支援をしていただきます。

今後、県のPTAの活動がより活発に推進出来るよう、委員会として諸問題を積極的に解決したいと思っています。